

あなたの家は大丈夫ですか？

回覧

地震は、いつ起きても不思議ではない状況です。県の調査によると、糸魚川—静岡構造線断層帯の地震が全体で起きた場合、千曲市は震度6弱から7になると予想されています。

千曲市では、昭和56年(1981年)5月31日以前に工事に着手した木造在来工法の住宅について、**無料耐震診断と補助率80%(上限115万円)の耐震改修工事の助成等**を行っていますので、ご活用ください。

いつ起こるかわからない地震に備えるために、耐震化を進めましょう！

★こんなことを考えたり、疑問に思ったりしていませんか？

【地震が起きたら、家が倒れる前に逃げるから大丈夫？】

大地震が起こったら、地震に弱い家から逃げ出すことは難しいです。

慌てて外へ出ると、屋根瓦が落ちてきたり、ブロック塀が倒れてくるなどの危険性もあります。

【家が壊れても、自分が困るだけだから誰にも迷惑はかからない？】

あなたの家が壊れて道をふさいでしまうと、救助や消火活動に支障をきたします。

また、避難する人の通行を妨げたり、通行している人に怪我をさせたりする可能性もあります。更に、隣の家に倒れかかれば、隣の家も損傷してしまいます。



出典 (一般財団法人 消防科学総合センター)

【耐震改修工事って大金がかかるんでしょ？】

費用は住宅の古さや大きさ、工事の方法で異なりますが、木造住宅の場合100~300万円で行われることが多く(耐震部分のみ)、**全体で半数以上の方が200万円未満**で済んでいます。

【耐震工事ってどんな工事をするの？】家全体を補強する場合に補助が使えます！

●基礎の補強

基礎のひび割れの補修、鉄筋コンクリートの増し打ち等を行い基礎を強くします。

●壁の補強

柱と柱の間に斜めの木の設置(筋かい)や、強い合板(構造用合板)を張って地震に強い壁を造ります。

●柱・梁の接合部の補強

柱や梁を金具によって留め、しっかりと固定します。

●屋根の軽量化 (壁等の補強と併せて行う場合のみ補助対象)

瓦の様な重い屋根を軽い屋根材に葺き替えます。



木造住宅耐震診断について

診断は無料ですよ！！

耐震診断結果報告書には評価のほか、耐震改修方法の一例と工事費の目安の提案も記載されます。
まずはご自宅が地震に対して安全かどうか、確認しましょう

◆対象となる住宅

次に掲げる要件すべてに該当する既存木造住宅

- (1)昭和56年5月31日以前に着工された住宅で市内に存するもの
- (2)木造在来工法の平屋又は2階建て住宅
- (3)個人所有の一戸建て住宅

※ツーバイフォー工法（枠組壁工法）、丸太組工法等は対象になりません。

◆診断結果は、評点により評価されます（評価はあくまでも目安です）

耐震改修工事 の補助対象	→	1.5以上・・・・・・・・・・倒壊しない。
		1.0以上1.5未満・・・・・・・・一応倒壊しない。
		0.7以上1.0未満・・・・・・・・倒壊する可能性がある。
		0.7未満・・・・・・・・・・倒壊する可能性が高い。

※震度6強から7の大地震が発生した場合の評点です。



木造住宅の耐震改修工事補助金について

耐震改修工事費用の補助金の上限は115万円です！！

耐震改修工事に直接かかる費用の5分の4以内の額を補助します

市が実施した耐震診断の結果、総合評点が1.0未満となった既存木造住宅（貸家を除く）の耐震改修工事費用の一部を補助します。補助対象となる工事は、一定の要件があります。

※市が実施した耐震診断以外の診断、工事を始めているまたは完了している場合は
補助対象にならないので注意してください。交付決定後に契約を行ってください。

◆耐震改修工事補助金の申し込み方法

事前に詳細についてご相談のうえ、建築課建築監理係までお申し込みください。

なお、実績報告を**申込と同年度の2月中旬**までに提出することが出来る工事に限ります。

※申し込みが多数の場合には、実施が次年度になることがあります。

☆千曲市では、住宅全体の耐震改修補助の他に「耐震シェルターや耐震ベッドの補助」や、「住宅の解体補助」「ブロック塀解体補助」も行っていますので、ご検討の方はお問合せください。

【問合せ先】千曲市役所 建設部建築課 建築監理係 TEL 273-1111（内線 3243）